

8 : 日本農業工学会シンポジウム

- 第1回「農業工学と国際協力」(1985年)
- | | | |
|--------------|---------------|------|
| 「農業工学と国際協力」 | 田内 堯(国際協力事業団) | (土木) |
| 「農業土木と国際協力」 | 北村貞太郎(京都大学) | (計画) |
| 「国際協力の精神と意義」 | 細川 明(宇都宮大学) | (機械) |
| 「農業工学と国際協力」 | 杉 二郎(東京農業大学) | (生環) |
- 第2回「農業工学とエネルギー」(1986年)
- | | | |
|--------------------|----------------|------|
| 「農業土木技術とエネルギー」 | 桜井音十郎(三重大学) | (土木) |
| 「農業機械とエネルギーの高効率利用」 | 木谷 収(東京大学) | (機械) |
| 「農業施設における代替エネルギー」 | 山沢新吾(日本大学) | (施設) |
| 「農業施設における省エネルギー技術」 | 山本雄一郎(電力中央研究所) | (電化) |
| 「農作業の省エネルギーと低コスト化」 | 加藤雄久(北海道農業試験場) | (作業) |
- 第3回「農業生産における土と水」(1987年)
- | | | |
|-------------------------|----------------|------|
| 「土地利用型農業における土と水」 | 岩田進午(農業土木試験場) | (土木) |
| 「農業機械化からみた土と水の問題」 | 佐藤清美(石川島芝浦機械株) | (機械) |
| 「農法転換をもたらした土と水をめぐる技術革新」 | 塩谷哲夫(北陸農業試験場) | (作業) |
| 「施設を利用した無土壌農業」 | 鈴木芳夫(筑波大学) | (施設) |
| 「野菜工場の研究開発状況と今後の課題」 | 関山哲雄(電力中央研究所) | (電化) |
- 第4回「21世紀にむけての農業工学研究」(1988年)
- | | | |
|----------------|---------------|------|
| 「農業土木の研究ビジョン」 | 白石英彦(農業土木試験場) | (土木) |
| 「次世代農業における情報化」 | 橋本 康(愛媛大学) | (生環) |
| 「農業機械学の将来像」 | 川村 登(京都大学) | (機械) |
| 「農作業研究のあり方と方向」 | 春原 亘(東京大学) | (作業) |
- 第5回「バイオテクノロジーと農業工学」(1989年)
- | | | |
|--------------------|----------------|------|
| 「バイオテクノロジーとロボット」 | 岡本嗣男(東京大学) | (機械) |
| 「バイオ・ナーサリーシステムの開発」 | 長岡正昭(野菜・茶業試験場) | (気象) |
| 「大量苗生産と農作業」 | 坂上 修(東北農業試験場) | (作業) |
| 「野菜工場の研究開発状況」 | 関山哲雄(電力中央研究所) | (生環) |
- 第6回「低コスト農業と農業工学」(1990年)
- | | | |
|------------------------|-----------------|------|
| 「低コスト生産を目指した大区画水田圃場整備」 | 山路永司(東京大学) | (土木) |
| 「大規模超省力水田生産技術の展開」 | 川崎 健(農業研究センター) | (作業) |
| 「農業機械化による3割コストダウンへの道」 | 山下律也(京都大学) | (機械) |
| 「畜産施設(畜舎)の低コスト化」 | 上野克美(農業協同組合連合会) | (施設) |
- 第7回「農業・農村環境と農業工学」(1991年)
- | | | |
|------------------------|-----------------|------|
| 「田園工学としての課題」 | 千賀裕太郎(東京農工大学) | (土木) |
| 「農業環境と農業機械」 | 道宗直昭(生研機構) | (機械) |
| 「畜産バイオマスの再資源化と技術開発の動向」 | 前川孝昭(筑波大学) | (施設) |
| 「気象資源の評価法と利用上の問題点」 | 清野 豁(農業環境技術研究所) | (気象) |
| 「農村における快適住居環境」 | 藤本信義(宇都宮大学) | (計画) |
- 第8回「情報化時代における農業工学」(1992年)
- | | | |
|----------------------|---------------|---------|
| 「人工知能の作業管理への応用を考える」 | 蔵田憲次(東京大学) | (生環・気象) |
| 「農業水利における情報化の現状と問題点」 | 丹治 肇(農業工学研究所) | (土木) |

- 「成苗化施設設計支援システム」 向 弘之(農業工学研究所) (施設)
- 「農業情報ネットワークの現状と将来展望」 町田武美(茨城大学) (農機)
- 「農村景観の再現と予測」 松尾芳雄(農業工学研究所) (計画)

第9回「環境調和・持続型農業と農業工学」(1993年)

- 「食糧生産に伴う地球温暖化ガスの放出吸収」 志村博康(日本大学) (土木)
- 「環境資源からみた作物生産過程」 高見晋一(北陸農業試験場) (気象)
- 「施設型植物生産と持続型農業」 古在豊樹(千葉大学) (生環)
- 「生態系調和型農業における農業機械化の課題」 古川嗣彦(農業研究センター) (機械)
- 「持続可能な農作物生産の課題」 塩谷哲夫(東京農工大学) (作業)

第10回「農業生産におけるセンサー・計測技術」(1994年)

- 「農用地の土層探査技術」 竹内睦雄(農業工学研究所) (土木)
- 「作業姿勢のセンシングと計測技術」 小林 恭(農業研究センター) (作業)
- 「農作業用ロボットにおけるセンシング技術」 鳥居 徹(東京大学) (機械)
- 「青果物の非破壊検査におけるセンシング技術」 前田 弘(果実非破壊品質研究所) (施設)
- 「植物機能の画像診断技術」 大政謙次(国立環境研究所) (生環・気象)

第11回「高付加価値化と農業工学」(1995年)

- 「農業農村整備の新たな展開」 小泉 健(農業工学研究所) (土木)
- 「農業施設と付加価値」 河野澄夫(食品総合研究所) (施設)
- 「ロボットによる接ぎ木苗生産」 鈴木正肚(生研機構) (機械)
- 「環境調節における花卉の高付加価値生産」 奥矢明子(横川電機株) (生環・気象・植工)
- 「高付加価値生産による農村振興」 生方里子・千明孝一(吾妻農業改良普及センタ) (作業)

第12回「地域・農村文化と農業工学」(1996年)

- 「地域・農村文化と農業土木」 川尻裕一郎(農業工学研究所) (土木)
- コメント 楠本侑司
- 「地域・農村文化を支えてきた農業機械の今後の役割」 岸田義典(新農林社) (機械)
- コメント 塩谷哲夫(東京農工大学)
- 「農耕文化と環境」 矢吹萬壽 (生環)
- コメント 中川昭一郎(東京農業大学)

第13回「農業工学における教育」(1997年)

- 「社会のニーズと大学教育」 佐藤晃一(愛媛大学) (土木)
- 「農業機械の教育」 寺尾日出男(北海道大学) (機械)
- 「農業施設教育の現状とその新しい試み」 前川孝昭(筑波大学) (施設)
- 「生物環境工学の教育」 高倉 直(長崎大学) (生環・気象)

第14回「大型農業と農業工学」(1998年)

- 「大規模農業と土地改良」 山路永司(東京大学) (土木)
- 「大区画圃場の機械作業」 高井宗宏(北海道大学) (機械)
- 「大区画圃場における水稻直播作業体系」 北倉芳忠(福井県) (作業)
- 「農業気象から見た大規模農業」 山田一茂(北海道農業試験場) (気象)
- 「大型農業を担う青果物選別システムの動向」 相良泰行(東京大学) (施設)

第15回「環境調和と農業工学」(1999年)

- 「再資源炭の活用による資源循環と環境保全のための農村基盤技術」 小泉 健(農業工学研究所) (土木)
- 「カバークロップの植物機能を利用した農耕地の環境整備」 荒木 肇(新潟大学) (作業)
- 「農業気象の手法を利用した持続的作業栽培管理」 井上君夫(農業研究センター) (気象)
- 「環境調和を考慮した農業系未利用資源の利活用」 松田従三(北海道大学) (施設)